

2024 年度 三次元 CAD 情報標準化専門委員会 事業計画書(案)

2024 年 5 月 10 日

委員会名称	三次元 CAD 情報標準化専門委員会 3DCAD Information Standardization Technical Committee (3D ISTEK)				
委員会役員 および分科会 チーフ	委員長	日立製作所	生方	清美	(敬称略)
	副委員長	コニカミノルタ	稲城	正高	
	幹事長	東芝	藤沼	知久	
	幹事	エリジオン	相馬	淳人	
		Q V I ジャパン	中村	聡	
		コニカミノルタ	稲城	正高	
		セイコーエプソン	矢澤	和路	
		東芝	藤沼	知久	
		ニコン	石井	義則	
		日立製作所	生方	清美	
	監事	セイコーエプソン	矢澤	和路	
	分科会チーフ	DTPD 活用検討会	稲城	正高	
	WG リーダ	幾何公差 WG	中村	聡	
委員会構成 2024 年 4 月現在	正会員：12 社 ・エリジオン，Q V I ジャパン，コニカミノルタ，島津製作所，セイコーエプソン，東芝，ニコン 浜松ホトニクス，日立製作所，富士電機，ブラザー工業，ヤマハ 賛助会員：10 社 ・アルゴグラフィックス，NTT データエンジニアリングシステムズ，クリエイティブマシン，SOLIZE， ダッソーシステムズ，電通総研，日本航空電子工業，BIPROGY，PTC ジャパン，プレーナー ・JEITA トライアル制度にて参加：1 社 フォトロン（～2024 年 6 月）				
会議開催予定	・総会（1 回）5/10（次年度定期総会は 5/9（金）予定） ・幹事会（4 回）4/5，7/5，10/4，1/10（次年度第一回幹事会は 4/4 予定） ・戦略プロジェクト（12 回）（次年度は 4/18（金），5/23（金）予定） 4/19，5/24，6/21，7/19，8/23，9/20，10/25，11/22，12/20，1/24，2/21，3/28 ・DTPD 活用検討会（12 回）開催予定は同上 ・幾何公差 WG（11 回）開催予定は同上（4 月を除く）				
事業計画概要	1. 全体概要 昨年度の専門委員会運営の見直し検討を受けた対応を進めると共に，一昨年から追加したタスクフォース，他団体との連携，スタートアップの活動形態にて出来ることを模索して行く． 2. 戦略プロジェクト (1) 各検討会の活動に合わせて，1 回／月の開催を目安とする． (2) 参加者は例年通り，委員長・副委員長・幹事長・検討会チーフ・サブチーフ・プロジェクトリーダー・監事・渉外/戦略担当とし，必要に応じて会員メンバーを追加する． (3) 各種活動間での意思決定の迅速化に努め，必要に応じて幹事会に企画案を提案する． 3. DTPD 活用検討会 三次元データの業務での活用を念頭に，具体的なアイテムについて必要なルール・技術検討を行い，技術レポートとしてまとめ，本来の目的である三次元 CAD データ・DTPD 活用の効果を検証して行く活動を，関連団体の協力を得て実施する．				

	<p>(1) 3 次元 CAD データ・DTPD 交換の課題を明確にし、効率化につながる提案に結びつける。 3DA モデル・DTPD を実際に活用するユーザーと連携。</p> <p>(2) 3DA モデル・DTPD 活用に向けた情報共有の仕掛け作り 昨年度の取り組みである専門委員会運営見直しの結果を受けて、対面でのイベントなどを通じて会員相互の情報交換の機会を作り、会員各社のニーズに応じて行くと共に、賛助会員には各社のソリューションについて情報提供いただく機会を設定して行く。これにより専門委員会の活動を活性化すると共に、3DA モデル・DTPD 活用について会員間で情報共有を図り、更なる活用につなげて行く。</p> <p>(3) 幾何公差 WG ET-5102A は、ISO/ASME の最新動向を入手しながら課題内容を明確にし、ISO 22081 普通幾何公差規格の JIS 化などにつなげる。専門委員会会員を対象に行ってきた幾何公差研修会については、リソースの現状を踏まえて取り扱いを検討する。利用者からの問い合わせやフィードバックから、「幾何公差の検証・測定例集&lt;基礎編 Ver. 2.0&gt;のバイリンガル版発行、「幾何公差の検証・測定例集&lt;実践検証・測定編 Ver. 1.0&gt;の改定を行う。</p> <p>4. 書籍出版 2021 年に出版した書籍「3 次元 CAD データ (3DA モデル) の使い方と DTPD への展開」の続編を 2024 年 5 月に発行予定。前回の書籍出版後に産業団体や企業から、どのように現状の製品開発から移行して、どのように 3 次元設計を進めればいいのかを具体的に知りたい、という質問や問い合わせが多数あり、それに答える形で実践事例をまとめる事とした。</p>
特記事項	なし